

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

第35号 令和3年10月



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
http://konagayajunji.web.fc2.com/
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp

facebook

小長谷順二 検索

清秋の候、コロナ禍ではありますが皆様はいかがお過ごしでしょうか。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。令和3年9月定例会は、令和2年度伊豆市一般会計・特別会計の決算認定や、令和3年度伊豆市一般会計・特別会計補正予算、条例の制定、第2次伊豆市総合計画基本構想の変更など、多くの議案が上程され、本会議の質疑を経て、連合審査会、常任委員会の審議の結果、原案の通り可決・認定されました。

令和2年度伊豆市一般会計の収支概要は、歳入総額 233 億 6,329 万 9,000 円に対して、歳出総額は 218 億 1,208 万円で、差し引き 15 億 5,121 万 9,000 円になりますが、翌年の繰り越し財源を差し引くと実質収支額は 13 億 2,842 万 8,000 円となりました。

今後の政策課題をみると、都市計画区域の拡大に伴う各地区の拠点づくりの推進やコロナ禍による財政支援など、今まで以上に財政需要の拡大が予測され、経常経費を含めた歳出の効果的な運営と新たな収入源が求められます。財政の健全判断比率を注視しつつ、今まで以上の効果的な政策の実施を強く望みます。

令和3年9月定例会 一般会計補正予算(第4・5回)

.....(おもな事業).....	
包括的なアウトソーシング調査業務委託.....	110 万円
自転車購入費補助金(1台3万円).....	150 万円
『上の家』整備工事補助金.....	300 万円
土肥支所にサテライト診療所開設.....	491 万円
コロナ対策本庁舎等トイレ改修.....	1,967 万円
修善寺自然公園枯松伐採.....	1,000 万円
市内小中学校特別教室エアコン整備.....	2,970 万円
市内公的病院等補助金.....	2 億 6,579 万円
コロナ対策奨励金(県認証事業所).....	4,400 万円
虹の郷ロムニー鉄道枕木交換工事.....	2,357 万円

第2次伊豆市総合計画基本構想の変更

第2次伊豆市総合計画後期基本計画(令和3年度～令和7年度)の策定は8月12日に第4回総合計画審議会を開催し、計画案が承認され、9月6日のパブリックコメントの終了を受けて審議会長と最終的な意見調整を行い9月13日の本会議において追加上程され、9月30日の本会議で全会一致で可決されました。今回の基本構想の変更は、

- ①「令和7年度の設定人口を27,800人に下方修正」
- ②「基本構想に拠点地域ごとの将来構想を明示」
- ③「行政改革に係る重点目標「少子化対策と次代を担う人材の育成」を追加し6つの重点目標を設定」

※ 基本構想に沿った総合計画の実施を望みます。

伊豆市過疎地域持続的発展計画の策定

過疎計画自立促進特別措置法(旧過疎法)が令和2年度末で失効期限を迎え、本年4月から「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行されました。

伊豆市が『一部過疎(旧土肥町)』から『全部過疎(市全域)』に該当したことに伴い、「伊豆市過疎地域持続的発展計画」を新たに策定し、地域の特色を活かした総合計画との整合性を図りながら事業実施する計画となっています。

過疎債は充当率100%でその事業費の70%は国が交付するので非常に有利な起債となります。

計画については財源の見直しを行いながら、有益な起債の発行・国の負担又は補助の割合の特例など財政上の優遇措置について検討し、実施することが可能となります。



土肥地区から伊豆市全域に広がる

財産の減額譲渡について

旧月ヶ瀬幼稚園については、平成22年3月に閉園して以降、普通財産としての活用も検討してきました。

令和2年には市の未利用財産の処分として民間への売却を選択し一般競争入札に付しましたが、入札参加者がありませんでした。施設も比較的新しく、民間活用が可能な施設であることから、本年6月に公募型プロポーザル方式を採用し1件の公募があり、庁内の審査会で審査したのちに(株)Resort&Spa 雲風々を選定しました。

契約金額は500万円で企業の研修センターとして改修し、地域の活性化に役立つ施設にするものです。

市内事業者の留置、事業転換の支援の施策にも合致し、公共施設の有効利用に寄与する事業と考えています。



天城地区 旧月ヶ瀬幼稚園

東京オリンピック・パラリンピックのレガシー(遺産)

コロナ禍で異例づくめとなった東京オリンピック・パラリンピックが9月5日に閉幕しました。自転車競技の会場となった当市の日本サイクルスポーツセンターでは五輪とパラで計13日間、白熱のレースが繰り広げられました。「五輪の自転車競技で日本人メダリストが誕生したのは伊豆市だけで大会関係者は大いに盛り上がりました。

競技会場となった伊豆ベロドロームとマウンテンバイクコースを有する日本サイクルスポーツセンターと隣接する日本競輪学校を含めて自転車競技の設備がこれだけ充実している自治体は「世界的にも珍しい」と言われていますが、競技関係者だけに限られた印象があります。

自転車まちづくりのレガシーを構築するには「サイクリスト」「一般市民」そして「観光客」をどのように取り込んでいくことができるのか。

レンタサイクル等で地域内経済の向上を図るなど、長期的視点で将来へ継承していくことがカギになると思っています。



パラ競技でプレゼンターを務める

土肥地区温泉事業のアウトソーシングについて

土肥温泉事業の経営効率化に向けての経営改革方針策定業務委託費(418万2,000円)が上程されました。

土肥温泉は昭和初期頃から土肥鉱山(株)が坑道掘削を進めるにしたがい、次第に温泉湧出量が低下し枯渇してしまいました。そのため昭和24年に土肥町、温泉組合、土肥鉱山の間で協議が行われ、昭和29年に土肥温泉条例を設置し「温泉は全て町有とし運営管理をする」ことになり町営による温泉事業が開始されました。それから約70年、現在は伊豆市の温泉事業会計となっており、令和2年度の土肥温泉事業の決算の現金残高は5億1,763万円です。

土肥温泉事業は地域性や収益性、安定性などの面から地域・民間との連携が求められるので、時代のニーズ等に合わせ、アウトソーシングを含めた経営改革や温泉資源を最大限効果的に活用し、地域振興に寄与する効果が期待されています。



下庄田源泉(土肥中村地区)

伊豆市のワクチン接種の状況とWithコロナ対策

緊急事態宣言が9月末日をもって解除されました。安心せずに第6波を想定し、対策の強化に努めるべきです。

伊豆市の新型コロナウイルスワクチン接種については、9月末現在、12歳以上の市民の78.08パーセントの方が2回目の接種を終了しています。

これまでワクチン接種は、修善寺生きいきプラザ市民ホールを会場として「集団接種」を中心に進めてきましたが、2回目のワクチン接種率が集団免疫を獲得できるとされている70パーセントを大きく超える見込みとなったため、9月10日をもって「集団接種」を終了し、市内外の医療機関が行う「個別接種」へ移行しました。

さまざまな理由でワクチンを打ちたくても打てない方の支援が求められます。

今議会の一般質問でも多くの議員がコロナ対策について質しました。Withコロナとして感染防止と経済活動の両立は簡単ではありませんが、官民一体となってこの難局を乗り切らなければいけません。海外の先進事例を参考に、国を挙げて対策に取り組んでいただきたい。



(仮称)伊豆スカイライン C.C.発電事業環境影響評価方法書

静岡県環境影響評価条例に基づき、(仮称)伊豆スカイライン C.C.太陽光発電所建設事業の方法書の閲覧が令和3年8月25日~9月27日まで行われました。伊豆スカイライン別荘地オーナーの会は県知事に対し、本方法書に定めている影響範囲及び調査範囲に基づく環境影響評価に限定した場合、私たちが危惧する伊豆市の自然豊かな環境と景観を脅かす恐れが免れないことから、適切な範囲、方法について調査等を実施し、伊豆市の自然豊かな環境と景観を保全するために必要とする環境範囲及び調査範囲を設定すべきとする請願書が伊豆市議会に提出されました。委員会で審査した結果、全会一致で採択したことから、伊豆市議会として県知事に意見書の提出をおこなうことを決定しました。

知事には改めて本事業の内容を精査していただき地域の安全に努めていただきたいと願います。



10万枚のソーラーパネル設置予定

第34回

小長谷順二 市政報告会開催

令和3年10月14日(木)PM7時~ 土肥支所 4F集会室

集会や会議等の自粛で急速開催を見送ることもございます。

事前に問い合わせをお願いします。98-0400(小長谷)

10月4日の臨時国会で第100代首相に岸田文雄氏が選出され、岸田内閣が発足しました。選挙公約で掲げた「国民の声」を丁寧に聞く。個性と多様性を尊重する社会を目指す。みんなで助け合う社会を目指す。

この3つの約束を守り民主主義を守り抜き、コロナ対策、新しい日本型資本主義、外交・安全保障政策など課題は山積していますが国のリーダーとして、信頼ある政治を実行していただきたい。